



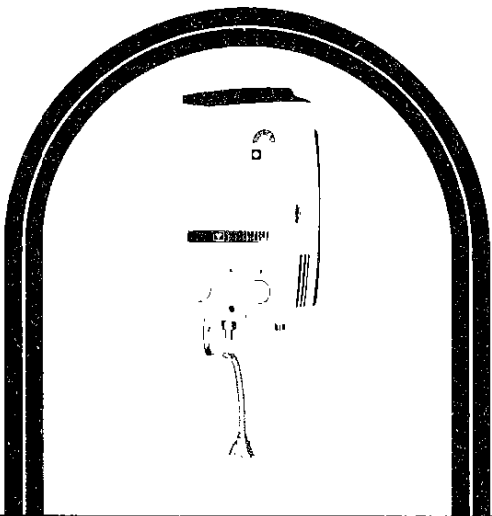
ガス
湯沸器

大阪ガス

33-030型

法定型式
R5-9型

取扱説明書



ガス器具をお使いになる時のご注意



ガスゴム管も
ときどき点検を
よいゴム管を
カッチリと…



使用中は
熱くなります
手をふれないで
ください。



空だきには
ご注意ください



ガス器具は
ガスの種類にあった
正しいものを…

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

このたびは、大阪ガスのガス湯沸器をお買いあげいただきまして、ありがとうございました。

この湯沸器は、瞬間元止め式ですから、お手元で簡単な操作でおこみの温度に湯温（湯量）調節ができ、又食器洗い用のシャワーも備えていますので、便利にお使いいただけます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになって、十分に活用いただきいつでもご愛用ください。

目次

■特に注意していただきたいこと	1
■各部の名称	4
■設置	4
■使用方法	6
■パイロット安全装置が作動したときの処置方法	8
■日常の点検・お手入れ	8
■特長	10
■仕様	11
■故障・異常の見分け方と処置方法	12
■長期間使用しない場合	12
■アフターサービス（維持管理について）	13

■特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

■使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。
- ガス器具本体側面にはついている銘板（ラベル）に表示のガスの種類とお宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類が一致していることを必ず確かめてください。ガスの種類が一致しないときは、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。
- ガスの種類には都市ガスとLPGガスがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。

例、都市ガス用

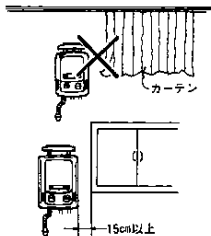
R5-9型
都市ガス用
6C 9,700Kcal/h
株式会社 陽栄製作所

■用途についてのご注意

1. 配管給湯（先止め工事）は絶対にしないでください。
先止め式ではありませんから湯を止めても火が燃え続け危険です。
2. ふろや簡易ふろなどへの給湯に使用しないでください。
湯沸器で風呂へ給湯されますと、長時間使用で器具に無理がかかり、早期故障の原因になったり、空気不足から不完全燃焼をおこし危険です。

■使用場所についてのご注意

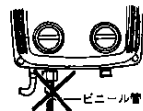
1. 強い風の吹き込み所では使用しないでください。
• 風で吹き消されることがあります。
2. 冷暖房装置の吹出し口及び吸込口近くでは使用しないでください。
• 燃焼のさまたげになることがあります。
3. 棚の下など落下物の危険のあるところでは使用しないでください。
4. カーテンや燃えやすいものをそばで使用しないでください。
5. 家具、壁その他の可燃物から十分離れている場所で使用してください。
詳しくは4ページをお読みください。
6. 換気扇のある場所に取付けてください。
換気扇のない場合は、換気扇を取り付けるか、または排気筒工事を行なってください。
7. ガスレンジや、コンロなどの燃焼器具の上には取り付けしないでください。



■使用上のご注意

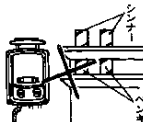
1. ガス漏れ予防

- (1) ゴム管はガス用ゴム管を使用し、ビニール管は絶対に使用しないでください。
• ビニール管は弾力性がなく熱にも弱いです。
- (2) ひび割れしたり、差し込み口がゆるんでいるゴム管は必ず取替えてください。
- (3) 使用時の点火・消火のほか使用中には、時どき正常に燃焼していることを確かめてください。
- (4) 使用後は必ず器具（ガス）せんを閉じ消火したことを確かめてください。
- (5) お出かけやお寝みの際にはガス元せんも必ず閉じてください。



2. 火災予防

- (1) 湯沸器の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。
- (2) 排気口の上にタオル、ふきんなどをせないでください。
- (3) 火をつけたまま就寝、外出は、絶対にしないでください。



3. 過熱防止

- 湯出口管の先にゴム管をつけて使用しないでください。
• 万一ゴム管が折れ曲ると異常過熱を危険です。
湯出口管が短いときは特製湯出口管（60cm～100cm）をお買求めください。



4. 火傷のご注意

- 使用中及び使用直後は、のぞき窓、しゃ熱板が高温になっておりますので器具（ガス）せんつまみ、水せんつまみ、湯温（湯量）調節つまみ、能力切替つまみ以外に手を触れないでください。
• 使用中及び使用直後は器体に手を触れないでください。

5. 換気のご注意

- (1) ご使用と同時に換気扇を回すなど換気にご注意ください。
- しめきった部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼により一酸化炭素中毒の危険があります。
 - 換気扇連動スイッチをお取り付けいただくと安全で大変便利です。

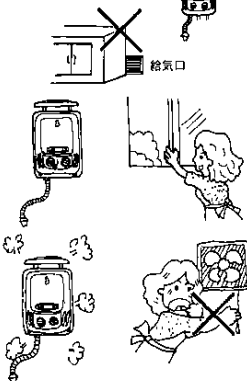


- (2) お部屋の給気口は常に確保し物などでふさがないようにください。



6. ガス事故防止

- (1) ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてカスルセンを閉じ、窓や扉を全部あけて、カスを外へ出してからお近くの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社・サービスステーションにご相談ください。
- (2) ガーガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他電気器具にふれたり(スイッチの入・切や電源プラグの抜き差し等)しないこと。
- 火や火花で引火し爆発事故を起すことがあります。



7. 飲用にお使いのときは

- 器内に長時間たまった水は、飲用の器又は調理に用いないでください

8. 凍結についてのご注意

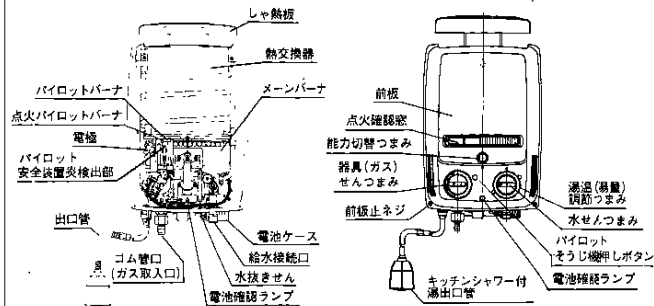
- 冬期器具内の水が凍るおそれのあるときは、凍結による器具の破損を防止するための水抜きを必ず行なってください。詳しくは8ページの「お読みください」。

9. 異常時の処置

- (1) 万一異常燃焼を起したときや、緊急の場合、あわてず器具(カス)セんとカスルセンを閉じて消火してください。
- (2) ガスはしばらくにお使いください。ガスタマみは途中止めず「止」「点火」「開」の位置で操作してください。
- (3) のぞき窓ガラスは必ず開けてお使いください。
- (4) 前板の汚れは、やわらかい布に台所用中性洗剤をつけてふいてください。金属たわし、スポンジたわし、みがき粉、シンナー、ベンジンなどを使用しますとキスがいたり、はげたりします。

各部の名称

■ 外観・構造



設置

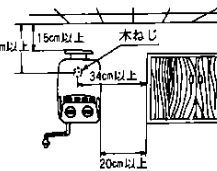
1. 取付上のご注意

- 湯沸器の両横は20cm以上あけてください。火災予防条例により湯沸器と周囲の可燃性の部分とは15cm以上はなしてください。なお20cm以上はなしていただきますと日常の点検に便利です。
- 湯沸器には付属品のシャ熱板を必ず取付けてください。シャ熱板と天井とは15cm以上はなしてください。
- 湯沸器は前後左右のかたむきのないよう確実に取付けてください。
- 可燃物の壁などに取付けるときは湯沸器用の防熱板を別にお買求めください。また、窓面への取付けのために取付板を別に準備してください。

2. 取付方法

- 湯沸器の取付高さは、のぞき窓を目の高さにするとともにとも使いやすいくなります。

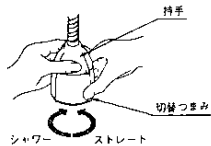
- 湯沸器の上部を固定する木ねじを1本天井から24cm以上、両横の壁からは34cmはなした位置に、ネジ込みしろは2mm残して取付けてください。(目の高さが24cm以上お約18cm上につけますと湯沸器が使いやすい高になります。)
- 湯沸器を前記の木ねじに取付けてください。
- 湯沸器の下部取付穴(2カ所)を木ねじでいっぱい締めて固定してください。締付けがゆるいときは湯沸器がゆれて使いにくくなります。
- シャ熱板の取付金具を湯沸器の取付足に差込んでシャ熱板を取付けてください。



2. キッチンシャワー付き湯出口管のシャワー出湯とストレート出湯の切替え方。

- 切替つまみを右に回せばストレート出湯、左に回せばシャワー出湯となります。
- シャワー出湯の時は、湯温調節つまみは「1」～「3」の位置でお使いください。

【注意】切替の際は、必ず持手を片手で保持し、もう一方の手で切替つまみを回してください。片手操作や無理な取扱ひ方をしますと、湯出口管が折れる場合があります。



■湯温(湯量)調節

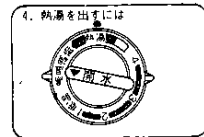
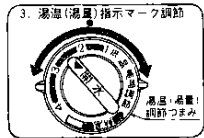
3. 水せんつまみの外側の湯温(湯量)調節つまみを回して目盛を「低温」から「熱湯」の位置までお好みの湯温になるように湯温(湯量)調節つまみの上の「●印」にあわせてください。

(数字と数字の間でも使えます。また「1」から「熱湯」へは左にも回せます。)

4. 熱湯を出すには

- キッチンシャワー付き湯出口管がストレート出湯になっていることを確認してください。
- 湯温(湯量)調節つまみの目盛を「熱湯」にあわせてください。
(湯出口管を持って使用するときはキッチンシャワー付き湯出口管の赤色の部分を持ってください。)

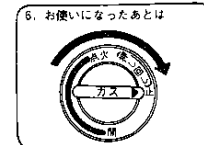
熱湯をお使いになるときは、ヤカンやポットで受けてください。コーヒカップなどで熱湯を受けられますと、熱湯が飛び散ってやけどをすることがありますのでご注意ください。



■消 火

5. お湯を止めるには水せんつまみを右へ止まるまで回してください。このときメーンバーナーの火が消え、パイロットバーナーのみ残ります。

6. お使いになったあと
- 器具(ガス)せんつまみを右へ回して、「止」の位置まで戻してください。
 - ガス元せんと給水元せを閉じてください。

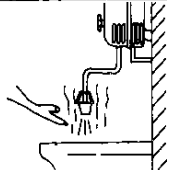


■消火後の再点火

●「あと湧き」にご注意

お湯を止めた直後にまたお湯を出されますと、最初器に残っていたお湯がさらに熱くなって出てきます。やけどを防ぐために水せんを開いたあとと数秒待つてお湯にふれるようにしてください。

(熱湯をお使いになったあとは、特に熱いお湯が出てきます。やけど防止で器具を長くもちさせるために、湯温(湯量)調節つまみを「低温」にもしてから水を止めてください。)



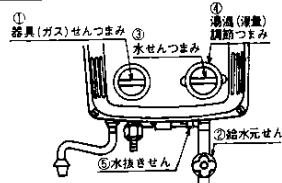
■凍結防止のための水抜きのかた

次の順序で水を抜いてください。

- 器具(ガス)せんつまみを「止」の位置にもどす。
- 給水元せを閉める。
- 水せんつまみを開く。
- 湯温(湯量)調節つまみを「1」の位置に合わせる。
- 水抜きせを開く。

「ご注意」

- 上記①～⑤は次にお使いになるときまでそのままにしておいてください。
- 再度使用されるときは水抜きせを開き湯出口管から水が流れるのを確かめた後水せんつまみを閉じ、点火操作を行なってください。(水を抜いたあと、再び使用になるときは器具(ガス)せんつまみを回す前に水せんつまみを開いて湯出口管から水が出るのを確かめてください。)
- 凍結したときは
 - 器具が破損し、高額な修理費用がかかる場合があります。(有償)
 - 凍結したまま使われますと、器具に異常が生じる場合があります。凍結が溶けた後、水もれがないのを確認の上ご使用ください。



■パイロット安全装置が作動したときの処置方法

■処置について

パイロットバーナーの炎が消えたときは安全装置が働いて自動的にガスが止まりますが、完全に止まるまで若干の時間がかかります(約1分)ので、パイロットバーナーの消火に気づいた時は、すぐ器具(ガス)せんつまみを元の「止」に戻してください。再点火する時はすぐに点火せず、しばらく待つて(約1分)から注意して行なってください。(再点火する時はお湯を止めてから行なってください。)

■日常の点検・お手入れ

■点検、お手入れの際のご注意

点検、お手入れの前には必ずガス元せ、給水元せを閉じ、器具が冷えてから行ってください。の安全装置及びガスの通路部分は絶対に分解しないでください。

■点 検

湯沸器を安全、快適にまた上手にお使いいただくために、日頃の点検を習慣づけるようにしてください。

- 炎は正常ですか。
 - パイロットバーナーが見えますか。
 - メインバーナーは正常に火がつかますか。
 - ガスの臭いや排気臭のいやな臭いはしませんか。
- 半年に一回前板をはずして熱交換器に酸化物やほりの詰り、メインバーナーの燃焼面の詰りがないか調べてください。
- もし熱交換器やメインバーナーの燃焼面が詰っていたり、いつもと様子の変わったところがあるときは使用を中止してガスの元せんも閉じてお近くの大阪ガスサービスショップにご連絡ください。

なお、業務用など使用頻度が多く、1日の使用時間が長いときは湯沸器の寿命が短くなります。常に快適にご使用いただくためには1年に一回は点検と調整が必要です。また湯沸器が古くなりますと、熱交換器やバーナーに白い粉状のサビ(硫酸銅)や黒いススがたまって不完全燃焼の原因となることがあります。

熱交換器・バーナーなどになったサビやススは家庭用は3年に一回、業務用は使用頻度によりですが、1年に一回程度の掃除をお願いします。

1. ゴム管

ゴム管は古くなりますとゴム管口から抜けやすくなったりヒビ割れしてきます。ときどきせっけん水等で漏れを確認してください。

2. パイロットバーナー

メインバーナーに火移りすると異常に大きな音がある場合はパイロットバーナーの炎が小さくなっています。

パイロットバーナーの炎が小さいときは器具(ガス)せんつまみを「止」にしてパイロットそうじ機押しボタンを数回十分押ししてください。

■お手入れ

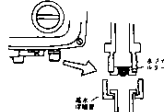
1. 前板のお手入れ

前板の汚れはやわらかい布に台所用中性洗剤をつけてふきとってください。(表示板はふかないでください。印刷がはげてしまいます) 金属たわし、メボシなどたわし、みがき粉、シンナー、ベンジンなどを使用しますとキズがついたり、はけたりします

2. 水フィルターの掃除

配管内のゴミや砂が水フィルターにたまり、お湯が出にくくなったり、点火しなくなることがあります。

- ① 給水元せんを開けてください。
- ② 工具で給水接続管をはずしてください。
- ③ 水フィルターを引きだして、掃除してください。
- ④ 水フィルターを取付ける前に給水元せんを少し開け、配管内のゴミを流してから、水フィルターを取り付けてください。



3. 前板のはずし方

- 点検とお手入れは、前板をはずしますと簡単です。
 - ① つまみを引き抜きます。器具(ガス)せんつまみ、水せんつまみ、湯温(湯量)調節つまみ能力切替つまみをはずしてください。
 - ② 前板正面下の前板止ねじ(2個)をはずします。
 - ③ 前板を少し持ち上げて手前へ引きますとはずれます。
- [バルブ部分・メインバーナーなど燃焼部分は分解しないでください。]

■部品交換のしかた

1. 電池の取り替え

電池確認ランプが光らなくなった場合や、電池確認ランプが明るく光っていても電池を入れて3年以上経過した場合は新しい電池とお取り替えください。[電池]1.5V用。

- ① 電池ケースキャップを左に回してははずす。
- ② 中の乾電池を取り出し新しいものと入れ替える。

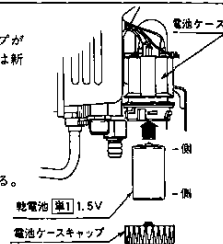
※方向性がありますのでご注意ください。

(上が⊕側、下が⊖側です)

- ③ 電池ケースキャップを位置合せして右に回して取付ける。

(注意)長期用(約1ヶ月)点火操作をされない場合は、電池を電池ケースから抜いておいてください。

(電池の液もれによる器具の破損防止)



■特 長

- ① パイロットバーナーの点火は電池による連続スパーク方式ですから、点火ミスがありません。
- ② クイックセクター方式ですから、操作が容易です。(点火の位置で待たなくても瞬時にガス通路が開きます。)
- ③ 電池確認ランプの消滅により、電池の消耗をしらせます。
- ④ パイロット安全装置付きですので、万一パイロットバーナーが消えた場合、自動的にガスが遮断されて、生ガスのでる心配はありません。
- ⑤ キッチンシャワー付き湯出管(フレキシブル管)がついていますので、お湯のとびりがなく食器洗いが非常に便利です。また湯口の向きを自在に変えられます。
- ⑥ 湯温(湯量)調節は低温から熱湯まで湯温(湯量)調節つまみの位置をあわせて調節できます。
- ⑦ 夏冬を通じて90℃～98℃の熱湯をご使用いただけます。
- ⑧ 水温の高い夏場にも使用できるようにガス量の調節ができる能力切替タイプです。
- ⑨ パイロットそうじ機付ですので、ノズル詰りの場合、押しボタンを押すことによりノズルそうじができます。
- ⑩ 水ガバナー(自動水圧調整器)とガスガバナー(自動ガス圧調整器)付きです。
- ⑪ 炭気や油煙のはいりにくい側面給気式です。
- ⑫ 湯沸器の使用時に換気扇を回すための換気扇連動スイッチ検出部機構を内蔵しています。

■アフターサービス(維持管理について)

●12ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」に示すような故障の症状があった場合、この取扱説明書をよくお読みのうえ、再度点検をしていただき、なお異常のあるときは保証書をお示しのうえ、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションにお申し出ください。

●ご不審な点や故障のおきたとき、また部品については、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションにお申し出ください。

●ご連絡いただくときは、器具の左側面に貼付してあるコード番号も合わせてお知らせください。

(例)

(4) 33-030(U)

大阪ガス株式会社

別添の保証書は大切に保存してください。

■転居される場合

ガスには15の種類があります。ご転居などによりガスの種類が変わったときには、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションにご相談ください。この場合の改造に要する費用は、保証期間内でありましても有償です。

■定期点検のすすめ(有料)

毎日お使いいただいているガス器具も、安心して永らくお使いいただくためには、定期的な点検とお手入れが必要です。

一般家庭用では2～3年に一度、業務用など長時間ご使用になる場合は1年に一度程度、専門家による分解手入れをお申し込みください。

お申し込み先……大阪ガスサービスショップ、大阪ガス支社、サービスステーション

◎上平に、長く、美しくお使いいただくためには、お手入れが大切です。習慣づけるようにしましょう。

■おねがい

ガスくさいときは、ガス元栓を開め、お近くの大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。

当社支社の住所・電話番号は裏面に掲載しております。

本社・支社所在地および電話番号表

本社	大阪市東区平野野町5-1	電話	大阪	06	(202) 2221	〒541
南支社	大阪市西成区糸島東2-9-41	電話	大阪	06	(652) 0001	〒557
北支社	大阪市淀川区十三本町3-6-35	電話	大阪	06	(301) 1251	〒532
堺支社	堺市住吉橋町2-2-19	電話	堺	0721	(38) 1131	〒590
北摂支社	高槻市藤の里39-6	電話	高槻	0726	(71) 0361	〒569
阪神支社	西宮市相上町4-11	電話	西宮	0798	(26) 3101	〒662
東部支社	東大阪市船場2-3-17	電話	河内	0729	(62) 1131	〒578
京阪支社	枚方市西川宮町16-17	電話	枚方	0720	(41) 1251	〒573
神戸支社	神戸市中央区相生町5-13-10	電話	神戸	078	(576) 5231	〒650
京華支社	京都市中京区丸の内池梅屋町358	電話	京都	075	(231) 8151	〒604
奈良支社	奈良市学園北2-4-1	電話	奈良	0742	(44) 1111	〒631
和歌山支社	和歌山市本町1-1	電話	和歌山	0734	(31) 2481	〒640
姫路支社	姫路市神屋町4-8	電話	姫路	0792	(85) 2221	〒670
東播支社	加古川市加古川町栗津29-1	電話	加古川	0794	(21) 1801	〒675
豊岡支社	豊岡市三坂町6-37	電話	豊岡	07962	(3) 2221	〒688
湖東支社	彦根市追分町字荒瀬680-1	電話	彦根	0775	(62) 5311	〒525
彦根支社	彦根市大東町9-41	電話	彦根	0749	(22) 3131	〒522
長浜営業所	長浜市南鏡町3-4	電話	長浜	07496	(2) 7171	〒526

その他当社サービスステーションおよびサービスショップ

- ガス機器をご使用のときは、換気にご注意ください。
- お使いになったあとは、器具ロックだけではなく鉄管先のもととコックもかならずしめましょう。
- ゴム管は、良質の大阪ガス製♥マーク入りのものを、そしてコックについている赤線のところまで深くさしこみ、必ずゴム管止めですめつけましょう。
- お使いにならない鉄管先のもととコックにはゴムキャップをかぶせておきましょう。

大阪ガス株式会社